



電友会 会員の皆さんへ

発行者 電友会本部
東京都新宿区西新宿3-19-2
NTT東日本本社ビル内
TEL 03-5359-6969
発行責任者 電友会本部
理事事務局長 青野 信雄

高部会長あいさつ



電友会の令和3年度事業運営にあたりご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、電友会の行事や活動を大幅に自粛せざるを得ない状況が続く、仲間と交流し刺激を受けながら絆を強め充実したシニア生活を過ごしてもらうという電友会の役割を十分に果たすにはなかなか難しい状況になり、会員の皆さまには大変なご不便をおかけしております。そうした厳しい状況の中で、それぞれの地方本部や支部においては、①リモートや感染対策を徹底したサークル活動の一部実施、②会報誌やHPによる会員の皆さまへの感染予防の呼びかけ、③退職者サロンや事務室への感染予防対策の徹底など、地元NTTと相談・連携しつつ、様々な対策や工夫を凝らして、活動に取り組んでいただいております。

本部においても、昨年度は、評議員会・全国女性の会・ボランティア表彰式などを大幅に自粛したところです。特に、「ボランティア表彰式」につきましては、活動賞36名・活動功労賞13名の皆さまへの表彰にあたり、大変申し訳ありませんでした。東京での集合実施は見送りとさせていただきます。①本部から表彰状を郵送、②地方本部で表彰式を開催の、いずれかの方法を地方本部に選択してもらい実施したところです。このように各種行事を自粛したこともあり昨年度の収支差は計画を上回るものになりましたので、この収支差を地方本部等の活動にあつての感染予防対策への支援に充当していきたいと思っておりますので、有効にご活用いただければと思います。

会員数は今年3月末で70,085名となり、1年前に比べ▲2,408名(▲3.3%)が減少し、減少に歯止めがかからない状態が続いておりますが、引き続き、NTTグループの協力をいただきながら、入会勧奨に取り組んでいくこととします。本部では関係会社と連携し、2年間にわたって首都圏の会員確保に向けて検討してきましたが、その結果、昨年10月末に新たな地方本部である「コム同友会」が設立され、現在400名の会員数ですが、コミュニケーションズ社の協力を得て更に拡充していくこととしています。また、首都圏グループ会社には、電友会の窓口が明確でない会社があるという課題がありますので、引き続き、関係者と意見交換をし、早急に明確化を図り、勧誘活動の強化に取り組んで参ります。

今年4月に「高年齢者雇用安定法」が改正され、事業主に對して70歳まで就労機会を確保することが努力義務化されました。

令和3年度電友会本部評議員会（書面開催）

た。NTTグループでは、65歳退職予定者の中から高度な専門性や特殊スキルを有する者を中心に選抜して継続雇用すると聞いております。当面は、直接的な影響は少ないものと思われませんが、定着してくると入会勧奨のタイミング等に影響してきますので、今後、NTTと具体的に確認・相談していきたいと思っています。

シニアへの就労支援を行う「アクティブシニア支援機構」(ASO)につきましては、厚労省の支援が終了し、昨年度から自立した事業運営となりましたが、関係者のご尽力、NTTドコモをはじめグループ各社からの受注増等により順調に推移しているとのこととす。今年度は、①スマホ講師、②ガラ携の機種変更事務、③防災監視業務、④マンション管理事務など、首都圏以外も含め就労機会の拡大に努めていくこととされており、電友会としては、会員の就労ニーズ支援の観点から、引き続き、地方拡大の動向も注視しつつ、ASOと連携・協力していきたいと思っております。

今年5月のNTT決算発表では、NTTドコモの契約数の伸び、テレワーク用の設備やソフトウェアの販売等が堅調で増収増益となり、最終利益が過去最高の9,161億円となり、また、新たな価値創出に挑戦・牽引する企業グループとして、移動・固定融合ネットワークの実現に向け、NTTドコモの完全子会社化、次世代通信基盤(IOWN構想)の実現に向けたトヨタ・NEC・富士通等との提携を進められるなど、私たちOB・OGにとつて大変頼もしく感じている次第です。電友会としては、引き続き、NTTグループの事業動向を理解し応援していくとともに、新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつCSR活動に積極的に参加していくこととします。

令和3年度の事業運営にあたり、ワクチンの接種により新型コロナウイルス感染が収束し、新たな生活様式を徹底し、様々な知恵と工夫を凝らして、電友会活動が活発に行われ、会員の皆様のお役に立てることを願ひまして、私の挨拶いたします。

電友会役員

会長	高部 豊彦	(本社地方本部長)
副会長	片山 泰祥	(関東地方本部長)
副会長	大木 一夫	(関西地方本部長)
副会長	西尾 彰夫	(ドコモ地方本部長)
副会長	山田 隆持	(東京地方本部長)
理事	前田 幸一	(関東地方本部副本部長)
理事	南 節子	(信越地方本部長)
理事	戸津 勝洋	(東北地方本部長)
理事	高石 茂	(北海道地方本部長)
理事	伴 秀実	(関西地方本部副本部長)
理事	中田 晴夫	(東海地方本部長)
理事	岡本 金久	(北陸地方本部長)
理事	川守 祐市	(中国地方本部長)
理事	安達 嘉男	(四国地方本部長)
理事	小田 尚見	(九州地方本部長)
理事	熊本 敏彦	(沖縄地方本部長)
理事	仲本 榮章	(コム地方本部長)
理事	和才 博美	(本部事務局長)
理事	青野 信雄	(東京地方本部副本部長)
監事	吉村 辰久	(東海地方本部副本部長)
監事	橋本 涉	
相談役	村上 治	
相談役	林 豊	
相談役	青木 利晴	
相談役	鈴木 正誠	

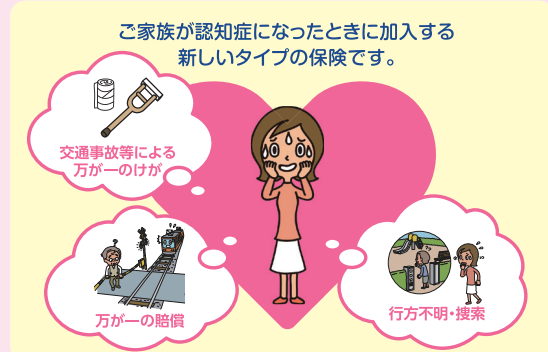
NTTグループ 団体認知症保険

(総合生活保険)

認知症のご家族を抱える方は必見

「徘徊による行方不明」や「電車の運行停止など思わぬ賠償トラブル」に備える保険をご用意いたしました

【保険料】男女/年齢問わず(40歳以上) 月額970円



※この広告は団体認知症保険の概要についてご紹介したものです。ご加入に際しては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

<お問い合わせ先・取扱代理店>

NTTグループ総合保険代理店
きらら保険サービス株式会社

〒105-6791 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館

お客様コンタクトセンター

0120-590-251

【受付時間】平日 午前9:00～午後5:00 (土・日・祝日はお休みさせていただきます)

<引受保険会社>

TOKIOMARINE
NICHIDO

東京海上日動

21-TC02064 (2021年6月作成)

コロナ禍の新しい試み いろいろ

<本社> 「秋の講演会」動画配信（ホームページで配信）

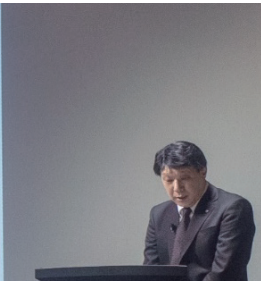
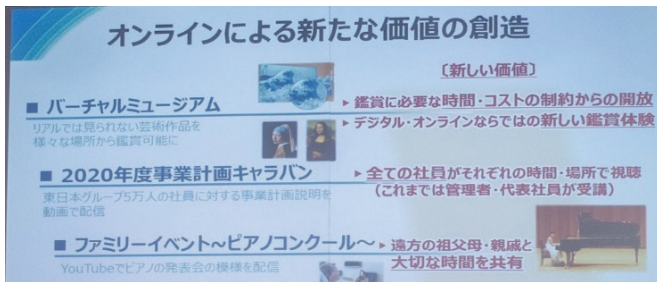
日 時：2020年11月10日（火）

場 所：NTTインターコミュニケーションセンター（ICC）会議室

演 題：「NTT東日本グループによる地域社会の活性化への貢献に向けて」

講 師：東日本電信電話株式会社 代表取締役社長 井上 福造 氏

新型コロナを踏まえたオンラインニーズや非接触ニーズへの対応などにおいてもNTTグループのICTソリューションの展開に大きな期待が寄せられています。



<東京>

Zoomを使用しての「オンライン会議」を開催

（多摩支部 PC倶楽部）



現在13人～15人が月2回から3回、各種情報交換や親睦、又は支部役員会を開催して活動の継続に効果を上げています。巣ごもり影響もあり遠方から参加されて、しかも久しぶりの方との対面は感動的で話が尽きない様子も見られます。また、電電千代田会各支部参加のオンライン事務局長会議なども実施しています。

<沖縄> 「スマホ教室」を開催

11月7日、会員10名がスマホ教室に参加し、オンラインサークルの実施に向けて、Wi-Fiの活用について学びました。会場には感染予防対策としてパーテーションを設置、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施しました。



<関西>

「新型コロナウイルス感染症対策推進室」のポスターを会報誌で紹介

会報誌の「健康シリーズ」で政府発行のポスターを継続的に掲載し、皆さんへの注意喚起を促しています。



<第333号(2021.7.1)>

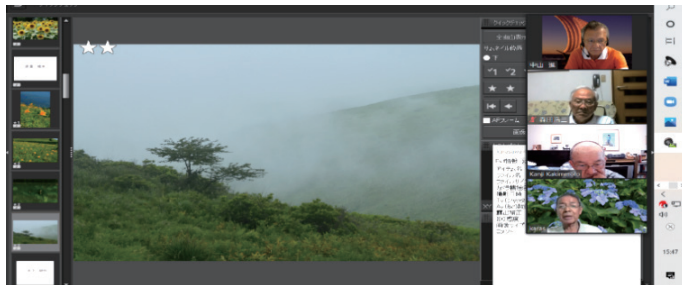
マスク会食のマナー

<本社> お楽しみ倶楽部「楽写会」活動報告 オンライン講評会（Zoom）の開催

『来年の日比谷同友会会報誌表紙写真の選定』をテーマに、各自6月から8月の風景をテーマに作品を3～4点提出し、柿本先生から15名の作品に対して、丁寧な講評をいただくとともに、何を感じて何を伝えたのか明確になってきているとともに表現に工夫もできており、どう撮るかも大事だが、どう表現するかを考えて作品を仕上げていくことのご指導を受けました。オンライン講評会は予定した3時間が楽しくあっという間に過ぎ内容の濃いものになりましたが、居酒屋に移しての恒例の反省会ができないのが、唯一の欠点かもしれません。（残念!!）



スクリーンショットによる集合写真



柿本先生による講評風景

<沖縄> 「首里城再建募金」ご報告 ご協力をありがとうございました！

会員（沖縄290名・九州8名）の皆さまから378,911円の募金をいただき、令和2年7月10日に仲本会長と崎浜事務局長が沖縄県庁を訪問し、首里城再建に向けた寄付金として沖縄県知事（代行島袋土木建築部長）に託しました。



<沖縄> サークル活動の新しい取り組み「オンライン・サークル」を開設

コロナ禍で、電友会サークル活動を自粛をせざるを得ない状況下にあります。新しいサークル活動の取り組みとして空手サークルが10月からオンラインで実施し、フォトサークルとマルチメディアサークルもオンラインサークル開始に向けて、取り組んでいます。また尺八サークルと囲碁サークルがパーテーションを設置して感染予防対策をしながら活動しています。

パーテーションを設置



囲碁サークル



尺八サークル

オンラインサークルを開設



マルチメディアサークル



フォトサークル



空手サークル

コロナ感染防止対策を徹底して「郊外で電友会活動いろいろ」

<北海道>「全道パークゴルフ大会」開催

日 時：2020年8月24日（月）

場 所：えべつ角山パークランド（江別市）

今大会は、全道から58名の選手に参加していただき、新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、全員がマスク着用で参加し、受付時には検温と消毒にご協力いただきました。



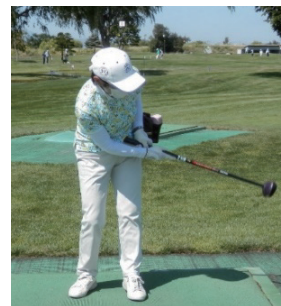
伴会長あいさつ



ソーシャルディスタンスで開会式



ご夫婦で参加



ティーショット



バーディパット

<信越> 「イキイキ健康体操」（やまびこ公園） いつもの体育館を飛び出して、屋外に！！



講師
塚田 啓子先生



<北陸> 「第10回 歴史散歩」 …北前船の寄港地として栄えた金石地区を散策…

絶好の秋日和の中で、25 名（女性9名）が参加し、「荒波を越えた男たちの紡いだ異空間」とし、日本遺産に認定されている北前船寄港地として栄えた金石地区を楽しみました。



本龍寺



銭五記念館前で集合写真を撮る時だけはマスクを外してハイチーズ！



コロナ禍の中でも「女性の活動いろいろ」

<北陸> 新サークル「ストレッチ女性愛好会」活動開始& 健康講座 「リラックスストレッチヨガ」を開催

健康増進はもちろんのこと、無理をせず楽しいコミュニケーションを通じて会員相互の親睦、女性の活動活性化が目的です。マスク着用・検温実施・ソーシャルディスタンス・換気等に注意して月3回実施しています。また、健康講座として「リラックスストレッチヨガ」をテーマに行いました。



講師
安地 京子先生



<沖縄> 「フードバンク活動」の取り組み 電友会うない(女性の会)とNTT女性委員会「うない」との連携

女性委員会「うない」は、CSR活動の一環としてフードバンク活動を年に2回実施する中、ポスターの添付箇所を増やしたり、食料品提供箱の設置場を工夫したり改善工夫を重ねた結果、423kgの提供があり、支援の輪が広がっている事を実感しています。そして電友会うないでも女性活動の一環として頑張っています。



女性委員会うないの皆さん



松田理事

コロナ禍の「電友会ボランティア活動賞・ボランティア活動功労賞」表彰式

第30回ボランティア活動賞・第6回ボランティア活動功労賞の東京での表彰式は見送り

令和2年度のボランティア活動表彰者は活動賞36名（個人32名・団体4名）と活動功労賞13名（個人7名・団体6名）で令和2年11月18日にボランティア活動表彰式を予定していましたが、新型コロナの影響で東京での開催を見送りました。本部から受賞者に表彰状を郵送する以外にも信越・関西・中国・四国・九州・沖縄では、地域事情に基づいて表彰式が開催されたので、高部会長からのビデオメッセージも届けられました。



関西



四国



九州



高部会長のビデオメッセージ



中国



九州

令和２年度「事業報告」

令和２年度は、（１）仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、（２）ボランティアや就労等の活動を通した世の中への貢献、（３）ＮＴＴとの連携と事業支援を柱として取り組むこととしたが、令和２年２月頃から新型コロナウイルスの感染が拡がってきたことから、様々な工夫により各種行事や活動を一部は実施したものの、大幅に自粛せざるを得ない状況となった。

１．総会・評議員会の実施

令和２年７月２日の電友会本部の評議員会は「書面開催」とし、地方本部や支部の総会・評議員会についても大半が「書面開催」とした。

２．仲間づくりと楽しい電友会活動の実践

（１）地方本部や支部のサークルやレクリエーション等の活動は、新型コロナウイルスの影響で大幅に自粛せざるを得なくなり、活動参加数は106千名で前年度に比べて▲53％減少した。活動にあたっては、①三密を回避しマスクや消毒の徹底、②パーティーションの設置、③飲食の自粛、④オンラインの活用など、感染予防を徹底して取り組んだ。

（２）本部では、①全国の優良施策、②ボランティア活動表彰者、③本社地方本部50周年記念行事、④ドコモ地方本部10周年記念行事、⑤コム地方本部の発足等を会報誌やＨＰ等でタイムリーに情報発信した。なお、令和２年9月予定の「全国女性の会」は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し中止とした。

３．ボランティア活動等による世の中への貢献

（１）ボランティア活動による貢献

①令和年度ボランティア活動表彰は、活動賞36名、活動功労賞13名に表彰したが、東京に集合しての表彰式は見送り、（i）本部から表彰状を郵送、（ii）地方本部で表彰式を開催の、いずれかを地方本部に選択してもらい実施した。

②「ボランティア活動物品支援」は、73団体に対し221万円の支援を行った。

（２）会員の就労ニーズへの対応

ＮＰＯ法人「アクティブシニア支援機構（ＡＳＯ）」は、令和２年度から自立した事業運営となったが、ＮＴＴグループ各社からの受注増等により順調に推移し、首都圏以外のエリアも含めて就労機会の芽が生まれてきている。

電友会としては、会員の就労ニーズ支援の観点から、ＡＳＯの取り組みに積極的に協力したところであり、引き続き、就労機会の地方拡大の動向も注視しつつ、連携を密にして取り組んでいく。

４．ＮＴＴとの連携と事業支援

（１）新型コロナの影響でＮＴＴや賛助会員等との交流が十分にできない面があったが、会報誌において、ＮＴＴの幹部挨拶や事業動向等を掲載しＮＴＴグループ事業の理解を深めるとともに、会報誌への広告掲載やチラシ同封等によりＮＴＴグループへの販売協力等に取り組んだ。

（２）新型コロナの感染拡大にあたり、①日常の予防策、②集合法議やイベントの扱い、③勤務体制等について、節目で地元ＮＴＴから情報提供や指導をいただきながら、電友会の感染予防策や会員周知に反映するなど、ＮＴＴと密接に連携し取り組んだ。

５．新型コロナの感染拡大に対する対応

新型コロナの感染拡大に伴い、地元ＮＴＴと相談・連携しつつ、①サークル活動や各種イベントの自粛と工夫、②感染予防策の会員への周知、③事務局の在宅勤務や時差出勤など、感染防止に向けた対策に取り組んだ。

６．会員の確保に向けた取り組みと財務の健全化等

（１）令和３年３月末の会員数は70,085名で減少傾向が続いているが、①会員の入会勧奨、②入会案内の更改、③広告掲載やチラシ同封の拡大、④経費の効果的な使用等により、会員の確保と財務の健全化に向け継続的に取り組んだ。

（２）首都圏エリアの会員確保策の一環で、令和2年10月28日にコム地方本部「コム同友会」が設立された。今後、首都圏エリアのその他グループ会社に対し、引き続き、社員の電友会認識の向上、対応窓口の明確化による入会勧奨の強化等について、意見交換を行うこととする。

令和３年度「事業計画」

電友会は、人生100年時代にあって、会員の皆さまが社会環境の変化に柔軟に対応し、生き甲斐をもって健康で有意義なシニアライフを過ごしてもらうようにお役に立つことを基本に活動している。令和３年度の実業運営は、従前と同様、（１）仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、（２）ボランティアや就労の活動を通した世の中への貢献、（３）ＮＴＴグループとの連携と事業協力を柱として取り組んでいく。

１．仲間づくりと楽しい活動の実践

（１）活動の柱であるサークルやレクリエーション等の活動については、会員の仲間づくりと楽しい活動の実践に向け魅力のある活動を展開する。なお、活動にあたっては、検温・消毒・パーティーション等の配備、リモート実施、活動自粛など、様々な感染予防対策をしながら取り組む。

①各種会合、アンケート、会報誌への投稿内容等により会員の意見・要望を収集し、会員ニーズに合った効果的な活動や施策を企画・実施する。

②会報誌、ホームページ、ブログ、メール等により、活動や施策への参加の呼びかけ、活動内容の紹介など、会員コミュニケーションの充実を図る。

（２）本部は、地方本部や支部等の優良施策をホームページ、ブログ、会誌等でタイムリーに紹介・推奨し、全国の連携を深める。

①地方本部や支部等の「優良施策」、「全国お国自慢・心の交流会」、「全国のがんばり屋さん」等を紹介する。

②本部の推奨施策として、健康向上に向けた健康講座等の経費の一部を支援し、本部ブログ等でその内容を紹介する。

（３）今年度も「全国女性の会」を開催するが、新型コロナ感染予防を考慮し、リモート実施等も検討する。

２．ボランティアや就労の活動を通した世の中への貢献

会員の中には、仲間や地域との繋がりを持ちながら、様々なボランティア活動や就労活動に取り組んでいる。電友会としては、これらの活動が地域社会へ貢献し長寿社会を豊かにしていくとの認識に立ち、積極的に推奨・支援していく。

（１）ボランティア活動による貢献

今年度も、様々な分野で活躍しているボランティアの優良活動を発掘し、表彰を行うことで讃えていく。また、電友会ボランティアサークルに対し、ボランティア活動物品支援金として費用面から支援していく。

（２）会員の就労ニーズへの対応

シニアへの就労支援を行うＮＰＯ法人「アクティブシニア支援機構（ＡＳＯ）」では、①ＮＴＴグループ各社からの新たな業務創出、②自治体ＤＸ・高齢者のデジタルデバイト克服・ＧＩＧＡスクールなどの一般市場の開拓、③シニアのための仲介サイト等の自主企画型事業の検討など、首都圏以外も含めた就労機会の開拓に努めていくこととされている。電友会としては、就労機会の地方拡大の動向も注視しつつ、積極的に連携・協力していく。

３．ＮＴＴグループとの連携と事業協力

（１）電友会の総会等のＮＴＴ幹部等への参加要請、ＮＴＴグループが主催する退職者交流会やＣＳＲ活動等への参加、ＮＴＴグループの事業動向等の会報誌への掲載など、ＮＴＴグループ事業への理解と協力に取り組む。

（２）ＮＴＴグループのＣＳＲ活動に「チームＮＴＴ」の一員として参加し、ＮＴＴグループの企業イメージ向上に貢献するとともに、ＮＴＴグループへの販売協力として会員からの販売情報の取次ぎに取り組む。

４．自然災害等への対応

（１）大規模な自然災害に対し、緊急連絡体制の整備や日頃の備えを呼びかけ、万一発生した場合には、速やかに会員の安否確認や被災状況の把握に努めつつ、必要により災害見舞金の贈呈を行うなど、会員の安心・安全に向けた取り組みを強化していく。

（２）新型コロナへの対応として、会報誌やホームページ等を通じて、ＮＴＴや行政等の情報をベースに感染予防対策や新しい生活様式の実践例等を定期的に周知し注意喚起していく。

５．「高齢者雇用安定法」改正への対応

令和３年４月に「高齢者雇用安定法」が改正され、事業主に対し70歳までの就労機会の確保が努力義務化されることとなった。ＮＴＴグループでは70歳までの継続雇用制度等が導入されたが、電友会の入会勧奨タイミング等に影響してくると思われることから、今後、ＮＴＴへ確認・相談していく。

６．会員の確保と財務の健全化等

（１）令和２年度末の会員数は70,085名で、令和元年度末に比べ▲2,408名が減少し、減少傾向に歯止めがかからない状態が続いていることから、引き続き、最重要課題として取り組む。

（２）ＮＴＴの「退職者説明会」は、新型コロナの影響でWeb形式や個別説明等に変更される可能性があることから、新たな入会勧奨の方法等について地元ＮＴＴと相談・検討していく。

（３）首都圏の会員確保に向け、首都圏のグループ会社に対して、引き続き、社員の電友会に対する認知度向上、対応窓口の明確化による入会勧奨の強化等について、意見交換を継続していく。